

引用例はどこだ!



特許出願や意匠出願の審査でよく使われる言葉「引用例」。タイトルの「引用例」から連想したものが、拒絶理由に用いられる引用例だとすれば、この「特許懇」を今読んでいるあなたは、出願手続のエキスパートとお見受けします。

普段、引用発明や引用意匠を用いて拒絶理由通知や審決を起案することが多い審査官・審判官。そんな審査官・審判官が会員となっている特許庁技術懇話会ですが、たまには引用される側の視点に立つのはいかがでしょう。

特許懇に掲載されたそれぞれの記事では、参考情報として他の論文などを引用していることがあるのですが、はたして特許懇に掲載された記事が他の雑誌や書籍の記事あるいは特許懇の他の記事で引用されることはあるのでしょうか。ために過去の記事を読み返してみると、なかなか読み応えのある記事が掲載されているのではないかとと思うので、どこかで引用されていてもおかしくないと思われれます。しかし、どこかで記事が引用されていて、引用されたことは、なかなかうかがい知ることができません。そこで登場したのが、読者の皆さんに、引用例の情報提供をお願いするとともに、皆さんから頂いた情報を紹介していくこのコーナーです。あいにく賞品もお礼の品もありません。ボランティアで情報提供をお願いします。

募集対象は、雑誌や書籍などの出版物に掲載され、特許懇の個別の記事を引用した記事です。ブログやホームページ上での引用は対象外とさせていただきます。

「特許懇の記事を引用して記事を執筆したことがある」という方。ぜひご一報願います。特許懇の記事を引用して執筆したことを記事の執筆者に間接的に伝えることができます。また、他の雑誌や書籍の記事で引用した場合は、特許懇読者をご自分の記事の存在に気づく可能性が高まるでしょう。

「自分の特許懇の記事がどこかで引用されたのを知っている」という方。ぜひご一報願います。ご自分の記事がもう一度読まれる可能性が高まるでしょう。

「たまたま特許懇の記事がどこかで引用されているのを発見した」という方。ぜひご一報願います。今のあなたはラッキーです。

引用情報を提供していただける場合は、次の(1)、(2)の内容を、下記「情報提供連絡先」のメールアドレスまでお知らせ願います。

- (1) 引用された特許懇の記事情報(執筆者、タイトル、掲載号、掲載頁、発行年)
- (2) 特許懇記事を引用した記事情報(執筆者、タイトル、出版物名、巻、号、掲載頁、発行年、引用が登場する頁(末尾に参考情報として載っている場合も含む)、脚注番号)

皆さんからの情報提供をお待ちしております。

情報提供連絡先

tokugikon-shi01@tokugikon.jp

注：情報提供された出版物が、特許懇編集委員会で確認できない場合には、こちらから連絡させていただく場合があります。

提供された引用情報は、編集委員会で内容を確認したうえで、次回のこのコーナーでまとめて紹介する予定です。また、特許懇のホームページでは、お寄せいただいた引用情報を次ページの例のような形で随時更新していく予定です。

引用された特許懇記事				特許懇記事を引用した他の記事					
執筆者	タイトル	掲載号	発行年	執筆者	タイトル	出版物名	巻、号、掲載頁	発行年	引用箇所
保倉行雄	企業が求める審査官像	233号	2004	澤井智毅 大熊靖夫 道祖土新吾	審査官の矜持	特許懇	N0.253 98-115頁	2009	114頁 (脚注58)
竹田稔	審査官・審判官に望むこと	233号	2004	澤井智毅 大熊靖夫 道祖土新吾	審査官の矜持	特許懇	N0.253 98-115頁	2009	114頁 (脚注57)
服部智	「特許審査の品質監理」について	246号	2007	澤井智毅 大熊靖夫 道祖土新吾	審査官の矜持	特許懇	N0.253 98-115頁	2009	112頁 (脚注46)
山口昭則	「世界最高水準の迅速・的確な特許審査」を行う特許庁に向けて (←審査官としての目で見えた過去、現在、将来)	235号	2004	澤井智毅 大熊靖夫 道祖土新吾	審査官の矜持	特許懇	N0.253 98-115頁	2009	111頁 (脚注44)
小林均	特許庁審査部における研修 ～特許審査官、審査官補を対象として実施される研修を中心として～	247号	2007	澤井智毅 大熊靖夫 道祖土新吾	審査官の矜持	特許懇	N0.253 98-115頁	2009	111頁 (脚注39)
南孝一	特許審査迅速化に至る経緯について	243号	2006	澤井智毅 大熊靖夫 道祖土新吾	審査官の矜持	特許懇	N0.253 98-115頁	2009	104頁 (脚注15)
水野恵雄	類似文献自動検索システムについて	223号	2002	間瀬久雄 大西昇	特許出願人に関する傾向の分析とそれを適用した無効化特許検索手法	電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌)	Vol. 127 No. 1 44-51頁	2007	45頁 (脚注12)
篠原勝美	知財高裁から見た特許審査・審判	239号	2005	岡田吉美	新規性・進歩性、記載要件について(上) ～数値限定発明を中心にして～	特許研究	No.41 28-56頁	2006	42頁 (脚注24)
深沢正志	シリーズ判例分析 いわゆる「容易の容易」が問題となった事例	239号	2005	岡田吉美	新規性・進歩性、記載要件について(上) ～数値限定発明を中心にして～	特許研究	No.41 28-56頁	2006	42頁 (脚注28)
安藤倫世	光触媒	234号	2004	仲村亮正 文相詰 藤嶋昭	光触媒の発見から現状、そして将来展望	真空	Vol. 49 No. 4 232-237頁	2006	233頁 (脚注8)
青木博通	ヨーロッパ意匠法から見た日本の意匠法	232号	2004	青木博通	欧州共同体意匠規則	知的財産法政策学研究	Vol. 10 189-213頁	2006	190頁 (脚注5)
水野恵雄	類似文献自動検索システムについて	223号	2002	HISAO MASE TADATAKA MATSUBAYASHI YUICHI OGAWA MAKOTO IWAYAMA TADA AKI OSHIO	Proposal of Two-Stage Patent Retrieval Method Considering the Claim Structure	ACM Transaction on Asian Language Information Processing	Vol. 4, No. 2 186-202頁	2005	199頁 (脚注 Mizuno2002)
村上敬亮	オープンソースを巡る著作権論議と知的財産政策への示唆	232号	2004	Hiroataka KANEKO Naoki KYOMOTO	Study of Open Source software	IP Management Review	Vol. 3 41-56頁	2005	56頁(末尾 脚注村上敬亮2004)
仲村靖	大学における知的財産を巡る現状と諸課題	232号	2004	横山久芳	職務発明をめぐる最近の動向について	日本労働研究雑誌	No. 541 4-22頁	2005	8頁 (脚注16)
山中唯義 須貝英雄	知的財産権の価値評価	222号	2002	平野聖	知的財産権の経済的価値評価	川崎医療福祉学会誌	Vol. 14 No. 2 451-460頁	2005	452頁 (脚注2)
眞壽田啓啓	バイオ関連発明と特許制度 —バイオ研究を刺激する制度を考える—	214号	2000	山名美加	発展途上国におけるソフトウェア産業と知的財産権 —インドを事例の一つとして—	現代社会研究	Vol. 4/5 65-79頁	2003	71頁 (脚注15)
岡田吉美	三極特許庁の取り組み ～世界特許システムの観点から	216号	2001	佐成重範	高度情報通信ネットワーク社会と知的財産権の相互インパクト	パテント	Vol. 55 No. 9 53-59頁	2002	59頁 (脚注20)
川濱昇	サイバー空間における知的財産権と独占禁止法	215号	2001	佐成重範	高度情報通信ネットワーク社会と知的財産権の相互インパクト	パテント	Vol. 55 No. 9 53-59頁	2002	58頁 (脚注14)
粟野正明	欧州の特許制度を取り巻く最近の状況	216号	2001	佐成重範	高度情報通信ネットワーク社会と知的財産権の相互インパクト	パテント	Vol. 55 No. 9 53-59頁	2002	54頁, 56頁 (脚注2)
谷口信行	産構審情報経済部会第1次提言案について	215号	2001	佐成重範	高度情報通信ネットワーク社会と知的財産権の相互インパクト	パテント	Vol. 55 No. 9 53-59頁	2002	54頁, 56頁 (脚注2)
中山信弘	著作権法の世界と特許法の世界	208号	1999	佐成重範	高度情報通信ネットワーク社会と知的財産権の相互インパクト	パテント	Vol. 55 No. 9 53-59頁	2002	54頁 (脚注7)
上田修一	学術情報の電子化の現状と今後 ＜電子化のジレンマ＞	223号	2002	岡田幸雄	生物学医学分野での文献検索(シリーズ 味と匂研究とComputer-15)	日本味と匂学会誌	Vol. 9 No. 3 769-773頁	2002	772頁 (脚注2)
眞壽田啓啓	バイオ関連発明と特許制度 —バイオ研究を刺激する制度を考える—	214号	2000	山名美加	遺伝子の特許化と現代社会 —財産的情報の保護に関わる考察—	現代社会研究	Vol. 2 45-57頁	2001	49頁 (脚注13)
宮田満	これからのバイオテクノロジーへの課題と期待	214号	2000	山名美加	遺伝子の特許化と現代社会 —財産的情報の保護に関わる考察—	現代社会研究	Vol. 2 45-57頁	2001	46頁 (脚注2)
山名美加	生物多様性の保護と知的財産権 —コスタリカ生物多様性研究所(INBio)の事例を中心に—	212号	2000	山名美加	遺伝子の特許化と現代社会 —財産的情報の保護に関わる考察—	現代社会研究	Vol. 2 45-57頁	2001	55頁(脚注37) 56頁(脚注43)